

施策名：スポーツによる地域の元気づくり

事業名	担当課・室名	ページ
国際スポーツ大会誘致推進事業	芸術文化スポーツ振興課	1 / 2
聖火リレー実施事業	芸術文化スポーツ振興課	1 / 2
スポーツによる地域の元気づくり事業	芸術文化スポーツ振興課	1 / 2
スポーツによる大分魅力創生事業	芸術文化スポーツ振興課	2 / 2
ラグビーワールドカップ2019レガシー継承事業	芸術文化スポーツ振興課	2 / 2

主要な施策の成果（事務事業評価）令和3年度実績【施策コード：Ⅲ-3-(3)】

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	評価		
1	<b>国際スポーツ大会誘致推進事業</b> (H26～R3) 芸術文化スポーツ振興課 県民のスポーツに対する関心を高めるとともに、地域資源を活用したスポーツツーリズムを推進するため、東京2020オリンピック・パラリンピックの事前キャンプの誘致等を行う。	①ホストタウン・事前キャンプ地における新型コロナウイルス感染症対策 PCR検査の徹底やバブル方式による新型コロナウイルス感染症対策強化を実施 ②オリンピック・パラリンピック事前キャンプや代表クラスの合宿に対する支援 事前キャンプ受入れ体制として、各市町村と協力し、宿泊施設等の手配や滞在費用を支援 ③東京2020オリンピック・パラリンピック事前キャンプ詳細協議 協定を締結した国に対し、世界選手権等の事前キャンプ実施の覚書締結に向けた誘致活動を実施	① 154,984 ③ 2,198 ② 57,103 ④	<b>国際スポーツ大会事前キャンプ協定書締結数</b> [累計：件]	目標値	9	10		A		
			主な活動指標と達成率			達成率	111.1%	110.0%			
			交流事業回数		目標値	5	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 東京2020オリンピック・パラリンピックの事前キャンプを誘致し、8か国から10競技の選手、計214名が参加した。また、新型コロナウイルス感染症対策として受入マニュアルを作成し、感染防止対策を徹底した。 当初の事業目的を概ね達成したことから、当該事業は令和3年度で終了するが、今後は「大分スポーツ地域活力創出事業」として、ナショナルチームの合宿誘致に取り組む。				
					実績値	6					
			[回]		達成率	120.0%					
競技団体等訪問件数	目標値	10									
	実績値	10									
			[件]	達成率	100.0%						
予算額 (うち翌年度繰越額) 214,612 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 214,285 (0)											

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	評価		
2	<b>聖火リレー実施事業</b> (R1～R3) 芸術文化スポーツ振興課 東京2020オリンピック・パラリンピックへの機運を醸成するため、新型コロナウイルス感染症対策を十分に講じたうえで、オリンピック聖火リレー、パラリンピック聖火フェスティバルを実施する。	①東京2020オリンピック聖火リレー及び東京2020パラリンピック聖火フェスティバルの実施 ・東京オリンピック聖火リレーにおけるリレールート の警備や、交通規制看板や交通用資機材の配置を実施 ・聖火リレーの出発式及びセレブレーションを実施 ・採火や集火などの聖火フェスティバルを実施 ・東京都で開催される集火式及び聖火リレーに大分県の代表者を派遣 ②新型コロナウイルス追加対策 聖火リレー時のランナー、関係者や沿道での観覧者の感染を防止するため、セレモニー会場や沿道での密集防止等の追加対策を実施	① 70,878 ③ ② 13,244 ④	<b>セレブレーションの来場者数</b> [人]	目標値		800		B		
			主な活動指標と達成率			達成率		95.0%			
			オリンピック聖火リレー実行委員会の開催回数		目標値	2	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 聖火ランナー全員への抗原検査の実施や、セレモニー会場での幕の設置や席の指定など感染防止対策を徹底し、全18市町村で聖火ランナー180名による公道での聖火リレーを開催した。 また、パラリンピック聖火フェスティバルでは手形アートを県内の支援学校の児童生徒の参加のもと作成し、展示したほか、18市町村17箇所で採火を行い、大会を身近に感じ応援する機運を醸成した。				
					実績値	2					
			[回]		達成率	100.0%					
パラリンピック聖火リレー実行委員会の開催回数	目標値	2									
	実績値	2									
			[回]	達成率	100.0%						
予算額 (うち翌年度繰越額) 87,202 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 87,201 (0)											

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	評価	
3	<b>スポーツによる地域の元気づくり事業</b> (R1～) 芸術文化スポーツ振興課 スポーツ文化の確立と県民スポーツの振興を図るため、プロスポーツチーム等を活用し、県民がスポーツに親しむ機運を醸成するため、プロスポーツチームの訪問交流や県民DAYを実施 ②大分県スポーツ振興基金積立 大分県のスポーツの振興を図るため、大分県スポーツ振興基金への積立を実施 ③スポーツイベントを活用した情報発信 ・プロスポーツチームなど、県のスポーツ振興の取組をPRする動画を大分トリニータのホームゲームで放映 ・年間約11万人の来場者があるオートポリスを活用した観光及び県産品PRを行い、魅力を発信	① 21,323 ③ 2,371 ② 7,000 ④	<b>交流参加者の満足度</b> [%]	目標値	90.0	95.0	95.0	A		
		主な活動指標と達成率			達成率	105.6%	105.3%		—	
		PR動画放映回数		目標値	40	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、県内プロスポーツチームが学校等への訪問交流を実施することで、コロナ禍においてもスポーツチームとファンとの交流機会やスポーツチームの情報発信の場を創出することができた。また、最も観客動員の多いモーターレースであるスーパーGTの際に抽選会などを実施し、観光及び県産品PRを行うことで多くの来場者に魅力を発信した。引き続き、県内プロスポーツチームの訪問交流やPRを行い、県民がスポーツに親しむ機会を創出する。				
				実績値	43					
		[回]		達成率	107.5%					
学校等訪問回数	目標値	56								
	実績値	54								
			[回]	達成率	96.4%					
予算額 (うち翌年度繰越額) 31,057 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 30,694 (0)										

主要な施策の成果（事務事業評価）令和3年度実績【施策コード：Ⅲ-3-(3)】

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	評価		
4	<b>スポーツによる大分魅力創生事業</b> ( R2 ~ R3 ) 芸術文化スポーツ振興課 スポーツ大会や大学・社会人チーム等の合宿を誘致し、一流アスリートと地域住民との交流による競技力向上、交流人口の拡大による地域活性化を図る。 予算額 (うち翌年度繰越額) 47,074 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 46,940 (5,365)	①スポーツ合宿の誘致支援 ・県内でスポーツ合宿を行うプロ、実業団、大学のトップチームに対して宿泊費や旅費を補助：14件 ・スポーツ合宿の受入に必要なスポーツ施設等の改修や器具の購入等を行う市町村への補助 ②アーバンスポーツの振興 若者に人気でオリンピックの新たな競技となったアーバンスポーツの振興を図るため、スポーツの魅力を紹介する動画を作成し、トリニータホームゲームで放映	① 35,000 ③ ② 1,938 ④	<b>スポーツ合宿等受入人数</b> [万人]	目標値	6.6	7.2		D		
					実績値	2.4	2.8				
				達成率	36.4%	38.9%					
				主な活動指標と達成率 競技団体等訪問件数 目標値 60 実績値 36 [件] 達成率 60.0% アーバンスポーツ動画の放映回数 目標値 40 実績値 140 [回] 達成率 350.0%	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 新型コロナウイルス感染症の影響があるなか、昨年度合宿を誘致した競技団体を再度誘致することができ、スポーツ合宿等受入人数については回復の兆しが見えてきた。また、オリンピックを機に注目が高まったスケートボードの魅力を発信しつつ、マネアップを図るための動画を作成し、TVやイベント会場で放映した。 令和4年度からは県内のスポーツ施設及び宿泊施設をPRすることで、スポーツ合宿等の受入増を図る「大分スポーツ地域活力創出事業」を実施する。						

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	評価	
5	<b>ラグビーワールドカップ2019レガシー継承事業</b> ( R3 ~ R5 ) 芸術文化スポーツ振興課 ラグビーワールドカップ2019のレガシーを継承するため、ラグビーの魅力や横浜キャノンイーグルスのセカンダリーホストエリアとしての登録を活かした取組を行う。 予算額 (うち翌年度繰越額) 38,676 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 34,319 (14,185)	①ラグビーの普及・振興 ・横浜キャノンイーグルスと連携した無料観戦招待や、先端技術を活用したラグビーコンテンツの開発 ・大分県ラグビーフットボール協会と連携し、県内の小学生や幼稚園児を対象とした訪問型タグラグビー教室を開催 ②RWC2019の感動と興奮の継承 ・RWC2019日本大会大分開催記念モニュメントの製作者展覧会の開催 ・RWC2019レガシー動画の作成	① 22,932 ③ ② 11,387 ④	<b>キャノンイーグルスホーム観戦者数</b> [人]	目標値		7,000	7,700	D	
					実績値		5,393	-		
				達成率		77.0%	-			
				主な活動指標と達成率 タグラグビー教室の開催回数 目標値 50 実績値 58 [回] 達成率 116.0%	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、観戦者の減少が見られたが、県内で開催した試合の観戦者数は、横浜キャノンイーグルスの2022シーズン3月までの1試合平均4,565人を上回り、一定数以上の方に観戦機会を提供することができた。 今後は先端技術を活用したラグビー体験会を実施することでラグビーの普及・振興を推進するとともに、キャノンイーグルスやOne Rugbyと連携したラグビー体験会や講習会等により、県民への更なるラグビーの浸透を図る。					